

夢の島は遠く

浜村 淳
はまむら じゅん

プロフィール
1935年京都府生まれ。映画評論家、ラジオパーソナリティ。同志社大学文学部卒業。タレントとしては初めて国立大学和歌山大学経済学部)の講師となった。著書は『浜村淳の浜村映画史』(青土社)、『京都人も知らない京都のいい話』(PHP研究所)など多数。2009年、文化庁長官表彰。MBSラジオ「ありがとう浜村淳です」などで活躍中。

ハワイへたびたび行った。

ゆくたびに、この島の日本人の話を聞いてまわった。なるべく高年齢のかたに伝説、噂話、想い出話を語ってもらった。

それは明治元年(一八六八年)のころにさかのぼる。横浜あたりにヴァン・リードという男があらわれた。ハワイ領事というウソくさい肩書きを振り回して人々を誘った。

「ハワイへ来ませんか。いい金儲けができます。蛇二匹つかまれば一ドルになります」。おもに生活に困った農民、町民、浪人の間を説いてまわった。集まった人々を船に乗せ、夜の闇にまぎれて密航させた。

火山島に蛇はいない。ほんとうの仕事は、このころさかんになりはじめた砂糖キビ畑での労働だった。刈り取る、束ねる、はこぶ。炎天下における想像を絶する苛酷な労働だった。

白人の現場監督は馬に乗り、鞭をふるって労働者を追い立てた。夜は体を休める小屋もなく、だれもが土の上に寝ころがった。奴隷以下の悲惨な暮らしだった。そのうち、うめくように暗い歌が湧き出して来た。

「行こかメリケン もどろかジャパン ここが思案のハワイ島 ホレホレ

このころ世界に植民地政策が広まっていた。アメリカはハワイに目をつけた。

宗教と病気で島の人々の思想を変え人口を減らした。王制を廃し抵抗勢力には海兵隊の武力で制圧した。

このときダイヤモンド岬に幽閉された最後の女王リリウオカラニを助けて奮戦したのが明治元年にハワイに移住した人々の息子たちだった。みな戦死した。亡くなった若者たちを偲んで丘に立ち、女王が青い海に向かって歌ったのが名曲「アロハ・オエ」だと云われている。

これにさきだつて明治二四年、ハワイのカラカウア大王がはじめて日本を訪問している。

大王は秘かに明治天皇に面会を求め、アメリカの侵略から島を守るため日本のチカラを借りたい、そのために御一族の山階宮定麿王と姪のカイウラニ女王との縁組をお願いしたいと訴えた。しかし天皇は一族を雲煙のかなたのような想像もつかない遠くの島へやることはできないと拒否された。そのかわり正式な移民は認めようと仰せられたという。

このときをもつて日本人のハワイ移住がさかんになつたが、その六〇年のちに太平洋戦争勃発という新たな悲劇がハワイの日本人におそいかかつて来る。

夢の島は夢ばかりではなかつた。そのかぎに民族の歴史の裏がある。裏の真実はわかりにくい。

どの民族にも興亡の歴史がある。風俗習慣の変遷もある。そのことを民博はわかりやすく興味深く教えてくれる。

一九五九年、ハワイはアメリカの五〇番目の州になった。まぎれもなく、これは真実である。

月刊 みんぱく

11月号日次

- | | |
|---|--|
| <p>1 エッセイ 千字文
夢の島は遠く
浜村 淳</p> <p>特集 みんぱく 40周年</p> <p>2 みんぱく開館 40周年にあたって / 吉田 憲司</p> <p>3 賑やかで、少し悲しくて / 池澤 夏樹</p> <p>4 まったく違って、とても似ている / 岸 政彦</p> <p>5 何度でも楽しい / 柴崎 友香</p> <p>6 エル・アナツイ瀑布 / ススキコージ</p> <p>7 個の力、組織の力そしてマスの力 / 松田 素二</p> <p>8 作品世界に命を吹き込む場所 / ヤノベ ケンジ</p> <p>9 学問のかきまぜ役 / 鷲田 清一</p> <p>10 ○○してみました世界のフィールド
バグパイプを奏でる
印東 道子</p> | <p>12 みんぱく Information</p> <p>14 想像界の生物相
ハイブリッドな悪魔
黒川 正剛</p> <p>16 新世紀ミュージアム
浜松市楽器博物館
福岡 正太</p> <p>18 手芸考
手芸で社会とつながる
——大阪万博の「童心曼陀羅」
山崎 明子</p> <p>20 新版『国立民族学博物館 展示案内』
刊行のご案内</p> <p>21 次号予告・編集後記</p> |
|---|--|